

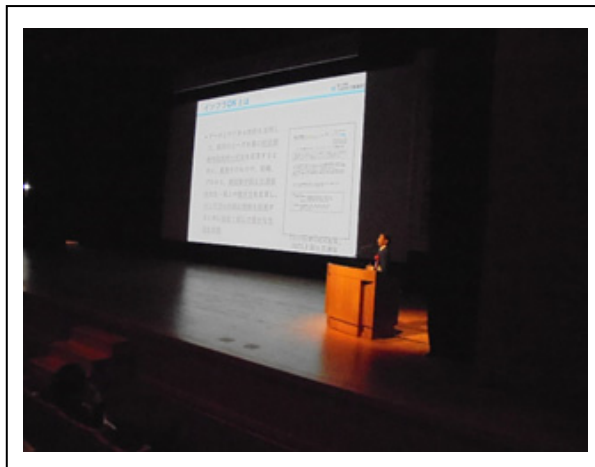
事業報告書

1 支援団体名	九州建設技術フォーラム実行委員会
2 事業名称	九州建設技術フォーラム 2021
3 実施日時	令和3年 10月25日～26日
4 実施場所	福岡国際会議場
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及の促進をより効果的に図るため、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取組みについて情報を発信し、「産」「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展示、意見交換会等の形をとりながら連携を深め九州のさらなる建設技術の発展を目指すものである。</p> <p>今年は、メインテーマの「インフラDXの推進～新たな社会の構築に向けて～」を踏まえ、基調講演では九州地方整備局企画部長の森下博之氏に講演いただいた。</p> <p>ブース展示は全体で81社・機関が出展した。また、技術のWEBサイトの情報発信にも81社・機関が参加した。</p>
	<p>(事業実施効果)</p> <p>今年の開催で特筆されるのは、昨年引き続き新型コロナ感染拡大防止対策である。接触による感染リスクを回避するために、来場者の受付をWEBによるリモート受付にしたのをはじめ、基調講演はWEB活用のライブ配信を実施。また「三密」回避の観点から、多目的ホールのブース設置数及び入場者数、基調講演の入場者数を従来の5割程度に抑えたほか、QRコード受付、サーモグラフィ検温など様々な感染防止対策を講じた。その結果、感染者は発生しなかった。</p>
6 参加内訳	総人数 2,123 名
	(1) 主催者参加 74 名
	(2) 日本人参加 ((1)を除く) 2,049 名
	(3) 外国人参加 ((1)を除く) 名
7 今後の方針	<p>新型コロナ感染状況にもよるが、来場者の受付をWEBによるリモート受付、基調講演はWEB活用のライブ配信を実施する。また「三密」回避の観点から、の入場者数を従来の5割程度に抑え、その他、QRコード受付、サーモグラフィ検温など様々な感染防止対策を講じ、実施する予定である。</p>

開会式（委員長挨拶）



基調講演



基調講演会場状況



基調講演ライブ配信状況



ブース展示状況



コロナ対策（サーモグラフィー等）

